２０２３年９月３日（第１主日）

## 第一礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ:郭永東牧師

| | | |
|---|---|---|
| 前　奏 | | |
| 頌　栄 | ５４０ | 会　衆 |
| 主の祈り | | 会　衆 |
| プレイズ | 「心に感謝を持ちながら」 | 会　衆 |
| | 「なんとすばらしい」 | |
| 聖書朗読 | サムエル記下９：1～13 | 司　会 |
| 祈　祷 | （旧約聖書ｐ493） | 司　会 |
| 賛　美 | 新生３６３ | 会　衆 |
| メッセージ | 「慈しみを見せたい」 | 牧　師 |
| 祈　祷 | | 牧　師 |
| 賛　美 | 新生７３ | 会　衆 |
| 聖 餐 式 | | |
| 献　金 | | |
| 報　告 | | 司　会 |
| 頌　栄 | 新生６７２b | 会　衆 |
| 祝　祷 | | 牧　師 |

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

## 第二礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ：伊禮信義先生
司　会：郭永東牧師

聖書：マタイ 25：13（新約聖書 p49）
ﾒｯｾｰｼﾞ：「だから目を覚ましていなさい」
ﾌﾟﾚｲｽﾞ：「主イエス様の恵み」「暗闇に光」
賛　美：新生４４７　新生３７９

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

## ファミリー礼拝

ﾒｯｾｰｼﾞ：渡真利彦文牧師
司　会；渡真利千佳子姉

聖　書：創世記 18：16～23
ﾒｯｾｰｼﾞ：「アブラハムのとりなし」

## ＜巻頭言＞

「神の暗室」牧師 郭永東

詩編 88 編は、絶望的な状況にある詩人が神に呼びかける祈りです。しかし、同様の状況で書かれた他の詩とは異なり、この詩はどんな光もつかむことなく結論を迎えます。なぜ神はこのような詩を許されたのでしょうか。その理由は、こうした状況が私たちの前によく現れるからです。

『信者であっても闇を経験することがあります。』聖書は、すべての創造物が現在嘆いており、私たちも同じ堕落した世界の中でため息をついていることを認めています。（ローマ 8:22～23）これは、私たちも病気、事故、困難に直面する可能性があることを意味します。さらに、主として従うイエスも苦痛と苦難の道を歩まれませんでしたか？私たちも例外ではありません。この事実を受け入れると、初めて本当に自由になり、私たちの困難を助けてくださる主の恵みを経験することができるのです。

『闇の中で私たちは主に再会することができます。』驚くべきことに、この詩の最後の言葉は『闇』です。他の詩とは異なる、完全に予想外の結末です。しかし、これも神からのメッセージとなるならば、闇の中でのみ見つけることができる光があるのではないかと考えることができるかもしれません。（詩編 139 編）興味深いことに、デジタルカメラが登場する前、フィルムカメラで写真を撮る際には暗室が必要でした。フィルムに撮られたイメージは、暗室内でのみ写真に現像されたのです。

私たちにも『神の暗室』を通してのみ明らかにされる神の光があるのです。ですから、闇の中でも希望を失わず、主の導きを待ちなさい。先が見えなくても、一歩ずつ主に委ねて前に進みなさい。私たちの良き羊飼いである神は、決してあなたの手を放さないでしょう。